

人物じんぶつのようすや気もちに気をつけて読もう

「名前を見てちょうだい」あまん きみこ作

めあて

「名前を見てちょうだい」のかんそうをはっぴょうし合おう。

お話に出てくる「人物」

- ・ えっちゃん
- ・ きつね (のはらこんきち)
- ・ お母さん
- ・ 牛 (はたなかもうこ)
- ・ 大男

○かんそう

(1) おもしろかったところ

- ・ 風がふいてきてぼうしがとばされてしまうところ
- ・ えっちゃんがおこつてぐわあんと大きくなるところ
- ・ 大男が風船のようにしぼんでしまうところ

(2) ふしぎに思ったこと

- ・ ぼうしの名前がどんどんかわっていくところ
- ・ えっちゃんの体の大きさがかわるところ

(3) げきにしてみたいところ

- ・ きつねと牛が大男に会ったときにげだしてしまうところ
- ・ えっちゃんが大男に立ちむかうところ
- ・ えっちゃんが、もどつてきたぼうしをかぶつてあそびに行くところ

(4) みんなで考えたいこと

- ・ えっちゃんは大男に会ってもなぜにげなかったのだろう。
- ・ なぜ、えっちゃんはぼうしをとりかえすことができたのだろう。

学習かだい

「一年生にものごたりのおもしろさをつたえるために、人物の気もちがあらわれるように音読げきをしよう。」

【1 / 15 時間目 指導略案】

使用するワークシート①

活動のねらい

教材文に興味をもち、初発の感想を発表し合うことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

- 感想を書く視点を示しておく。

2 全文の読み聞かせを聞き、感想を書く。

- 読み聞かせの後に、登場人物を確認する。
- ※ 児童が楽しく学習できるように、クイズを出しながら登場人物を押さえるといでしよう。
- 視点ごとに感想を発表させる。

評価 興味をもって教材文を読み、感想を発表しようとしている。(ア1)

3 音読劇をすることを知り、学習課題としての意識をもつ。

- 学習課題として、「二年生に物語のおもしろさを伝えるために、人物の気持ちが表示するように音読劇をしよう。」と投げかけ、音読劇への意欲を高めさせる。
- 人物の気持ちや伝わるように音読するには、人物になりきって気持ちを考えることが大切であることを押さえる。

4 本時を振り返り、次時の学習内容を知る。

- ワークシートで自己評価をさせる。
- 次時は、場面を分けることを知らせる。